

治山林道弘報

発行所
東京都千代田区永田町2-4-3
治山治水協会
日本林道協会
編集人 田尾秀夫
発行人

治山愛林 雲外蒼天

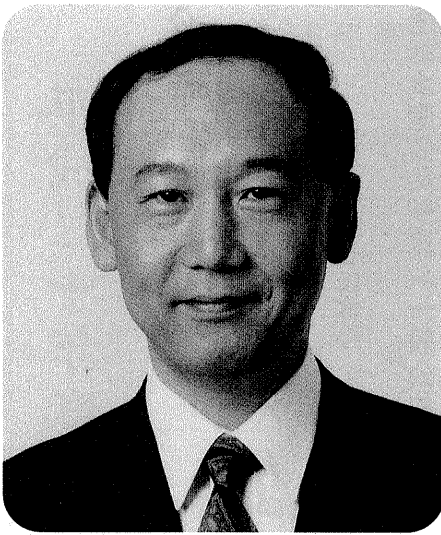
定価1カ年3,600円(消費税、送料共)
(会員は会費に購読料を含む)

年頭のごあいさつ

社団法人 治山治水協会
日本林道協会

会長 山口 俊一

新年明けましておめでとうございます。都道府県治山林道協会の皆様方には、ご健勝で輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。



げます。

また、新年から社団法人治山治水協会並びに日本林道協会の会長をお引き受けいたしました。協会を取り巻く環境は年々厳しくなっておりますが、本年は、社団法人治山治水協会が創立七十周年の大きな節目の年を迎えますので、両協会がこれまで以上に発展するようしっかりと頑張ってお参りしたいと存じます。会員の皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、平成二十年度予算につきましては、「二〇〇七治山・林道のつどい」や「林野公共事業推進本部開き」に大勢の皆様方に駆けつけていただくなど、力強いご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

おかげさまで、林野公共事業予算は、非公共事業予算にシフトした額を加えると、対前年度比九七・七%を確保した上に、内閣府や水産庁、農村振興局にも相当額の予算が計上されるなど、大きな成果を挙げることができました。これも、ひとえに皆様方のご支援の賜物であり、重ねて御礼申し上げます。

しかしながら、都道府県や市町村の財政は一層厳しさを増しており、治山・林道事業を推進していくことは、年々、難しくなっておりますが、近年、台風や集中豪雨等により激甚な山地災害が多発しておりますので、大規模な災害を未然に防止するとともに、森林の整備が一層促進されるよう、頑張ってお参りしたいと存じます。

また、公益法人制度改革関連三法が、いよいよ本年十二月に施行されますし、入札制度の一層の改革が進められようとしておりますので、新しい年は、協会の今後のあり方を決定する重要な年になると存じます。中央協会並びに都道府県協会が、厳しい状況の中、なんとか活路を見いだすことができるよう、叡智を傾けながら、今年一年、しっかりと頑張ってお参りますので、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、新しい年を迎え、都道府県治山林道協会の限りないご発展と、会員の皆様方の一層のご健勝を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。